

各位

会社名 アマノ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 津田博之
 (コード番号 6436 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員
 経営企画本部長 井原邦弘
 (TEL: 045-439-1591)

2019年3月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2018年4月25日に公表いたしました2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)の業績予想値と本日公表の実績値について、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期業績予想値と実績値との差異

(2018年4月1日～2019年3月31日)

<連結業績予想値と実績値との差異>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	130,000	15,000	15,700	9,800	131.13
今回実績(B)	131,713	15,161	16,090	9,142	121.17
増減額(B-A)	1,713	161	390	△657	—
増減率(%)	1.3	1.1	2.5	△6.7	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	124,405	14,350	15,060	10,019	132.12

<個別業績予想値と実績値との差異>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	74,000	10,300	12,000	7,800	104.37
今回実績(B)	74,796	11,155	13,210	9,827	130.24
増減額(B-A)	796	855	1,210	2,027	—
増減率(%)	1.1	8.3	10.1	26.0	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	71,754	9,810	11,629	8,456	111.51

2. 差異の理由

個別業績については、売上高が、情報システムおよび環境システムを中心に伸長し、概ね期初計画どおりの実績となりました。利益面でも、営業利益および経常利益については概ね期初計画どおりの実績となりましたが、当期純利益については、特別利益としてグループ会社に対する投資損失引当金戻入額 720 百万円、投資有価証券売却益 141 百万円を計上したことにより、期初の利益計画を上回りました。

連結業績については、北米の業績回復が遅れているものの、アマノ単体および他地域のグループ会社でカバーし、売上・利益ともに概ね期初計画どおりの実績となりました。ただし、親会社株主に帰属する当期純利益については、北米アマノマクギャン社の業績不振に伴い、減損損失 220 百万円、繰延税金資産の取崩し等による法人税等調整額 423 百万円を計上したことにより、期初の利益計画を若干下回りました。

以 上